

ほほえむことから始めてみよう —ほほえみプロデュース活用推進事業—

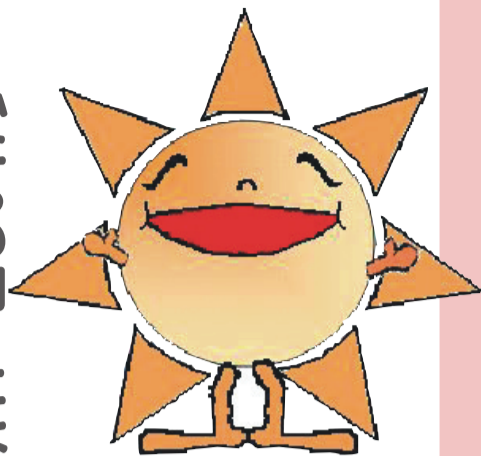


あなたにもこんな体験をお届けしたい。
あなたも「ほほえみの7か条」を学んで、地域をほほえみで
満たす取り組みに力を貸してください。



「僕は、最近お父さんか
らお母さんからほ
められたことがありませ
ん。でも、今日『ほほえみ
プロデューサー講習会』で
友達が僕の良いところを
見つけてたくさんほめて
くれました。とても嬉し
くて、知らないうちに笑
顔になっていて、びっくり
しました。今度は僕が周
りの人を笑顔にする側に
まわります。(小学生)」

「とても楽しい講習会で、
ほほえんでいるうちに気
持ちが楽になりました。
(成人女性)」



あたたか 子育てしたい地域で

私たちの周りにはいろいろな家族がいます。困って周りの助けが必要な時もあるでしょう。そんなご家族が安心して助けを求められる地域。人々があたたかく支え合う地域。私たちの暮らす青森県を私たち県民一人一人の力で、そんな地域にしませんか。そのために、県ではこんな取り組みを進めています。

「ほほえみプロデュース活用推進事業」

1. ほほえみプロデューサー講習会

約1時間で「ほほえみの7か条」を伝える講師を派遣します。(講師料無料)

2. 笑いプロデューサー養成講習会

ほほえみを届ける講師になるための勉強をしてみませんか。

7月10日(金)～12日(日) 青森市

3. ほほえみあふれる 青森県づくり推進大会

9月開催予定



それでもSOSが出せない
家族に気づいたら…
—子ども虐待の防止—

「人に相談するなんて駄目な人間のことだ。」「責められるんじゃないか」実は、困ったときに助けを求めるのは、とても勇気がいることです。

子ども虐待の問題を抱えてしまった家族の場合、子どもも、そして虐待をしている親もまた、傷つき、困っています。でも、自ら助けを求めることが難しくなっているかもしれません。「もしかして『おかしいな』」と思ったり、周りの方が、市町村の相談窓口や児童相談所に連絡(通告)をしてください。それが、虐待の関係から親子が抜け出すための援助の第一歩になります。



知っていますか？ファミリー・サポート・センター

「残業続きで、保育園のお迎えが心配」「自分の習い事に子どもを連れていけない」「そんな時に頼りになるのが、ファミリー・サポート・センターです。」

ファミリー・サポート・センターは、市町村が設立運営し、地域で子育て(子どもの預かり等)に関する援助を受けた人と援助を行いたい人がそれぞれ会員となって助け合う仕組みです。



援助を受けた人にとっては、身近な地域にいつでも頼める仲間ができます。また、援助を行いたい人にとっては、これまでの子育て経験を活かして地域貢献することができます。

県内では、昨年度は、八戸市、五所川原市、十和田市、三沢市の4市にファミリー・サポート・センターが設置されました。今年度は、新たに青森市、むつ市にも設置されます。

困ったときは、お互い様。そんな、援助を受けたい人と援助を行いたい人とのネットワークによる助け合いの輪が、今、広がっています。利用できる地域はまだまだ限られているため、県では、今年度、より一層の設置促進に向けた市町村支援に取り組み予定です。

なお、すでにファミリー・サポート・センターが設置されている市では、子育ての援助を受けたい人、援助を行いたい人は、市に申し込むと会員になれます。特別な資格などは必要ありません。援助の申し込みはもちろん、ぜひ助け合いの輪を支える会員になってみませんか。詳しくは、ファミリー・サポート・センター設置市にお問い合わせください。